

主催：一般社団法人医薬品セキュリティ研究会

第2回医薬品セキュリティ研究会フォーラム  
偽造医薬品と闘う技術の最前線②  
「真贋判定技術に求められる要件とは」

2014.4.18〔FRI〕

13:00-17:00

大阪大学中之島センター10F 佐治敬三メモリアルホール

定員： 100名（先着順）

参加費：	個人参加費（懇親会費用含む）	¥15,000円
	法人参加費（懇親会費用含む）	¥50,000円（2名様参加）
		¥75,000円（2名様参加+パネル出展代）

お申し込み方法： 本フォーラムへの参加は事前登録が必要となります。  
下記手順で、当会ホームページより「申し込みフォーマット.DOC」をダウンロードの上、必要事項を御記入頂き、下記「第2回参加受付」のアドレスに御送信下さい。登録完了となり次第、登録完了メールを送信させていただきます。

当会ホームページ（ URL: <http://www.secure-design.jp/> ）を開きます

HOME画面で、「conference」をクリック

「医薬品セキュリティ研究会主催フォーラム」をクリック

「第2回イセケンフォーラム申し込みフォーマット.DOC」をクリック

申し込みフォーマットがダウンロードされます

必要事項を御記載の上、第2回参加受付（ E-mail: [forum@secure-design.jp](mailto:forum@secure-design.jp) ）へ送信

登録完了メールが届きます

後援： 大阪大学大学院 工学研究科 セキュアデザイン共同研究講座  
金沢大学 医薬保健研究域薬学系 国際保健薬学研究室  
同志社女子大学 薬学部医療薬学科 医薬品分析学研究室

## 第二回フォーラム開催に向けて

偽造医薬品に関係する公的セクター、大学、製薬企業、偽造品対策技術を有する企業からの発表が日本で初めて一堂に会した日本薬学会のシンポジウム(2013年3月開催)の成功を受け、継続的な取り組みとして日本に定着させ、製薬企業、偽造対策技術を有する企業、大学がオープンに情報を交換し、議論を交わし、全体のレベルを上げるとともに世界の偽造医薬品への取り組みとも連携できることを目指すことを目的として医薬品セキュリティ研究会が2013年9月2日に設立されました。

その活動の一環として、偽造医薬品対策に関する先進的な取り組みを幅広く紹介する第一回フォーラムが多数の参加者を得て同9月9日に大阪・中ノ島の大阪大学ホールにおいて開催されましたことは記憶に新しいところです。偽造医薬品対策は、偽造医薬品及び防止技術の情報収集・対策実施などの社内体制の整備、知的財産を守るための税関による水際での摘発、オンラインでの偽造医薬品販売の摘発もめめた国内外の警察・司法・行政組織との連携、製薬業界団体を介した世界レベルでの偽造医薬品情報の収集と調査など、多面的な取り組みを必要としています。偽造医薬品に関する脅威がますます高まるなか、患者さんの安全を最優先に考える必要がある製薬企業として何をどのような手順・優先順位で取り組むべきか、未だ手探りの状態が続いているのが現状かと思えます。そこで、第一回フォーラムを更に発展させた第二回フォーラムを開催することとし、偽造医薬品との戦いの具体的な取り組み、偽造医薬品対策として提案されている技術、アイデアに関する先進的な取り組みを紹介していただくこととしました。

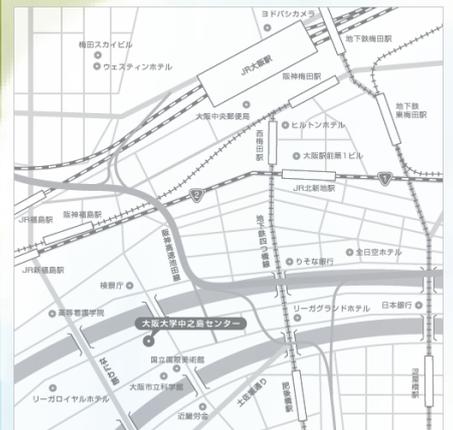
偽造医薬品による健康被害の発生が世界的に大きな問題となっており、インターネットの普及も相まって、日本は例外であり大丈夫という考えを変える時期にきています。偽造、模倣、不正取引などに代表されるリスクは医薬品に限定されるものではなく、食品、化粧品、電化製品など幅広い業種、製品がその脅威に晒されており、これらの業界での先進的な取り組みも含めて今後も本フォーラムにおいて紹介していただく予定ですので、関係各位のご参加、積極的なご支援を何卒よろしくお願いいたします。

医薬品セキュリティ研究会

## PROGRAM

※プログラムにつきましては予定となっており、変更となる場合もございます。

13:00~13:10 開会挨拶	「第2回フォーラムを迎えるにあたり」 木村和子 / 金沢大学 医薬保健研究域薬学系 国際保健薬学研究室 教授 一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会 代表理事
13:10~13:55 講演 1	「ファイザー社の偽造医薬品に対する取り組み(仮題)」 池田哲也 / ファイザー製薬株式会社 グローバル・セキュリティ ディレクター
13:55~14:40 講演 2	「偽造医薬品の実像と鑑別法」 谷本 剛 / 同志社女子大学 薬学部医療薬学科 医療品分析学研究室 特任教授
14:40~15:00 休憩	
15:00~15:25 講演 3	「偽造防止セキュリティマークの印刷技術と機材」 高田敏和 / 大日本スクリーン製造株式会社 MPCカンパニー ソリューション統轄部 統轄部長
15:25~15:50 講演 4	「ヨーロッパで採用が進む真贋判定技術のご紹介」 星名 勤 / 株式会社DIG JAPAN (根間印刷株式会社パートナー) 代表取締役
15:50~16:35 講演 5	「模倣被害の実態と今後の課題」 吉澤拓也 / 経済産業省 特許庁 総務部国際協力課 地域協力室 海外戦略第二係長
16:35~17:00 総括	「これからの偽造医薬品対策に向けた当会のビジョン」 猪狩康孝 / 武田薬品工業株式会社 品質保証監査室室長 一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会 監事
17:00~19:00 懇親会	「法人参加者のパネル展示」(2F会場) ※第1回フォーラムの懇親会で行った企業プレゼンテーションは今回はございません。



大阪大学中之島センター  
佐治敬三メモリアルホール(10F)  
大阪市北区中之島4-3-53  
<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>

一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会

所在地: 〒920-1192 金沢市角間町  
金沢大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー  
tel/fax 076-234-4402 (羽根)

一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会  
会員募集および、組織に関する問い合わせ先

事務局: [ichiei@nanoda.co.jp](mailto:ichiei@nanoda.co.jp) (田中)

偽造防止技術に関する問い合わせご質問先  
今後、当会が開催予定のフォーラムに技術発表を希望される方の問い合わせ先

大阪大学大学院 工学研究科セキュアデザイン講座  
連絡先: [nagahama@jrl.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:nagahama@jrl.eng.osaka-u.ac.jp) (nagahama)